

10/2 [金]
9:00 ~ 12:15

2日目

全体会

基調講演

奪い合う漁業から分かち合う漁業への転換が、 付加価値を生み、持続可能な地域づくりに ～子ども達の未来のために企業家として何を残すのか～

後

藤氏は、宮城県漁業協同組合志津川支所戸倉出張所カキ部会の一員として、東日本大震災によって船も養殖設備も、そのすべてを失いました。絶望のなか、それでも後藤氏は中間の漁師たちと幾度も議論を重ね、「この海で生き続けるために何が必要か」を問い続けます。そして、養殖棚の間隔を広げ、生産量を抑えることで、震災前の過密養殖から脱却する決断をしました。それは、「奪い合う漁業」から「分け合う漁業」への転換でした。量を追う漁業から、海を育み、地域の未来を守る持続可能な漁業へ。

そ

の結果、戸倉のカキは高い付加価値を生み出し、地域の誇りを取り戻していきます。後藤氏は、「未来の子どもたちへ残すべきものは、豊かな自然環境と、苦境を仲間と乗り越える地域の絆だ」と語ります。その想いは、後藤氏を単なる「漁業者」ではなく、地域や社会の未来に責任を持つ「漁業家」へと成長させました。一人の漁師が、絶望の海からどのように地域の未来を切り拓いてきたのか。後藤氏の実践と、その背景にある覚悟に触れていただきます。



撮影 / 浅田政志



撮影 / 浅田政志

後藤海産 代表
後藤 清広 氏

社員数 4名
カキ部会34形態
事業内容
海産物の養殖及び販売

実行委員長あいさつ

2000年に開催された「第28回青全交in宮城」以来、26年ぶりの開催となります。今回のテーマは、「逆境こそ挑戦の舞台!～“旗”を掲げ、共に未来を創ろう」です。2011年東日本大震災から15年が経過し、東北地方は課題先進地として、私たち青年経営者にとって「逆境」であり、持続可能な地域・暮らしを守る「挑戦の舞台」です。本交流会の設営を通して、「私たちは地域、業界の未来を担う重要な旗振り役である」という認識を持ち、当日参加する全員が日本、地域の未来を「共に創る」機会としましょう。



有限会社フィダール
代表取締役 林 翔太

物産展のご案内

“け!東北” 発酵文化まるごとパック 「東北の食文化×発酵食品×地酒」

東北が一体となって「東北」を味わっていただける詰め合わせパックを販売します。東北の冬は長く、時間と人を味方にしていく生き方をしてきた歴史があります。「発酵」は冬を超えるための工夫であり、命をつなぐ技術でした。発酵をコンセプトに、各県選りすぐりの食品と地酒をご用意します。9月1日から予約開始!本交流会でしか味わえない“け!東北”、ぜひご賞味あれ!

※「け!」とは東北地方で「どうぞ食べて!」を意味する方言です

申込フォームは
こちら!



随時商品情報を
更新します

10/1 [木]
13:00 ~ 18:00

1日目

分科会

第1分科会

企業づくりと青年部活動は不離一体

中同協

青年部活動は会社経営に何をもたらすのか ～役を受け、実践してきた経営者が語る 不離一体の本気・本音～

2030ビジョンの策定に関わり、長年にわたり役を受け続けながら、自社では事業承継、企業変革、新たな挑戦に本気で向き合ってきた実践者が登壇します。青年部活動を通じて得た学びや仲間との関わりを、どう自社経営に生かしてきたのか。不離一体の実践を本気・本音で語る分科会です。

コーディネーター

株式会社KSP 専務取締役(東京)

中同協青年部連絡会 副代表・東京同友会副代表理事

大垣 広太氏

- 創業年 1973年 ●設立年 1985年 ●資本金 7,500万円
 - 年商 11億8,755万円 ●社員数 39名 (パート・アルバイト 377名)
 - 事業内容 警備業全般・警備業コンサルティング・中島保育園
- <https://bodyguard.co.jp/>



パネリスト

オートモールジャパン株式会社 代表取締役(香川)

中同協青年部連絡会 副代表
香川同友会高松第4支部幹事長・共同求人委員会副委員長

西山 彰一朗氏

- 創業年 1981年 ●設立年 1983年 ●資本金 1,000万円
 - 年商 4億7,500万円 ●社員数 24名 (内パート・アルバイト 2名)
 - 事業内容 自動車販売・整備・保険代理店
- <https://www.n-cars.jp/>



パネリスト

日本いぶし瓦株式会社 代表取締役(岐阜)

中同協青年部連絡会 副代表 (中日本ブロック)

野々村 将任氏

- 創業年 1921年 ●設立年 1986年 ●資本金 2,000万円 ●年商 5億3,200万円
 - 社員数 28名 (内パート・アルバイト 1名) ●事業内容 屋根総合工事業
- <https://www.nihon-ibushikawara.co.jp/>
<https://eco.nihon-ibushikawara.co.jp/>



パネリスト

株式会社キューケンシステム 代表取締役(熊本)

中同協青年部連絡会 副代表 (九州沖縄ブロック)
熊本同友会菊阿支部副支部長・青年部相談役

穴井 憲一郎氏

- 創業年 2015年 ●設立年 2015年 ●資本金 500万円
 - 年商 1億3,000万円 ●社員数 10名 ●事業内容 電気工事業
- <https://kyuken-system.com/>



第2分科会

人を生かす経営 (労使見解)

中同協

人を生かす経営

変化が求められるこの時代で維持発展し続ける企業とは何か

現在中東問題などがあるなかで、中小企業として人を生かす経営を目指しながらどう社員教育・共有を捉え、実践していくのか?社員教育・共有を通しての社員をパートナーとしてどう実践を行いながら悩み、失敗の中で今後どう実践していくのかを学び合います。



岡山トヨタ自動車株式会社
代表取締役社長(岡山)

中同協社員教育委員長
岡山同友会常任相談役

梶谷 俊介氏

- 設立年 1945年 ●資本金 1,000万円
 - 年商 173億1,966万円 ●社員数 389名
 - 事業内容 新車販売、各種中古車販売・買取、自動車整備・修理、保険代理店ほか
- <https://okayamatoyota.com/>



株式会社A.モンライン
代表取締役(愛知)

中同協青年部連絡会代表
愛知同友会理事

平澤 本氣氏

- 創業年 2012年
 - 資本金 1,000万円
 - 年商 6億4,000万円 ●社員数 50名
 - 事業内容 一般貨物運送事業
- <https://a-online.jp/>



株式会社ファーストディレクション
代表取締役(岡山)

中同協青年部連絡会 副代表 (中国ブロック)
岡山同友会理事・仲間づくり委員会委員長

木本 康大氏

- 創業年 2016年 ●設立年 2017年 ●資本金 300万円
 - 年商 1億4,282万円 ●社員数 18名 (内パート・アルバイト 8名)
 - 事業内容 ライトアップ・イルミネーションの企画デザイン施工、機材レンタル販売
- <https://www.1st-dt.com/>

第3分科会

人を生かす経営で21世紀型企業づくり 静岡

人を生かす経営と向き合い、 社員と共に歩む

～じぶんづくり、かいしゃづくり、まちづくり～

父の急逝で突如承継した小野寺氏。周囲に認められようと意地になり孤軍奮闘するあまり社員との間に溝が生まれてしまいます。しかし同友会に入会し、経営者としてのあり方や人を生かす経営に触れる中で大きく自己変革、「社員や未来の人財に選ばれる会社になりたい」という想いが芽生えます。社員の声に耳を傾けながら、社員と共に働く環境の整備や、まちづくりを担う地域の中小企業としての使命に燃えるありのままの実践報告です。

富士設計株式会社
代表取締役

静岡同友会プロジェクト担当理事
青年部副部長

小野寺 敦嗣氏

- 創業年 1952年10月 ●設立年 1962年8月
 - 資本金 1,000万円 ●年商 4億400万円
 - 社員数 43名 (内パート・アルバイト 4名)
 - 事業内容 建設コンサルタント(土木設計、調査計画、維持管理、測量、補償コンサルタント業)
- <http://fujiarchitect.co.jp/>



第4分科会

経営者の全人格的成長

岩手

初めて感じた挫折感から救って くれたのは、社員そして仲間だった

～自ら決意することの本当の意味とは～

3代目として後継を決め人口減少が続く山間地域から、盛岡都市圏で新たな需要を生み出そうと支店を出店、顧客を開拓してきました。自信満々で臨んだ岩手同友会の経営指針実践塾の受講でしたが経営理念を生み出せずどん底に。そんな時に声を掛けてくれたのは、いつも側にいたベテラン社員でした。認めてもらい初めて気づいた「自分らしく」生きること。青年部会長として仲間との関わりに奮闘する昆氏の自己変革への挑戦です。

有限会社昆石材店
代表取締役

岩手同友会理事・青年部部会長

昆 卓広氏

- 創業年 1989年 ●設立年 1995年
 - 資本金 1,000万円 ●年商 3,500万円
 - 社員数 2名
 - 事業内容 石材加工販売
- <https://kon-sekizai.com/>



第5分科会 経営者の自己変革 熊本

「モメてモメてモメた！」
衝突の先に見つけた経営の核
衝突を「自己変革」のチャンスに変える



社員の相次ぐ退職、先代との軋轢、青年部での孤立。すべてを周りのせいにしてきた「他責思考」を脱し、ついに見出した「本質」を紐解く。逃げ出したいほどの葛藤・痛みを伴う経験をいかに学びへと変換し、愛情を持ったリーダーへと脱皮を遂げたのか。鎧を脱いで掴み取った経営者としての信念と真の絆について、「人を受け入れ、自分に矢印を向けてこそ、本当の成長がある」と魂を込めて語ります。

司法書士法人小屋松事務所
代表取締役

熊本同友会青年経営者部会相談役
南支部副支部長

小屋松 俊太氏

- 創業年 1980年 ●設立年 2010年
 - 資本金 100万円 ●年商 1億2,000万円
 - 社員数 11名 (内パート・アルバイト3名)
 - 事業内容 不動産・商業登記、相続・遺言・家族信託の専門サポート
- <https://www.hikosan.jp/>

第6分科会 経営指針の実践と確立 大阪

ひとりで背負う経営から、社員とともに描くビジョンへ
指針実践8年の火種が未来と仲間をつくる



本報告は、完成された成功談ではありません。不満や混乱という逆境の中で、経営者自らが“旗”を掲げ、社員と共に未来を創ろうと挑戦し続けている、まさに変革の真っ只中の報告です。逆境の中でもあきらめない心、社員一人ひとりの向き合い方、新製品・新事業への挑戦、そして経営者自身の成長。その一つひとつが、会社の未来を切り拓いていく過程を学んでいただけます。

株式会社高洋商会
代表取締役

大阪同友会かんくう支部長

山川 耕平氏

- 創業年 1981年 ●設立年 1987年
 - 資本金 1,000万円 ●年商 12億7,000万円
 - 社員数 48名 (内パート・アルバイト8名)
 - 事業内容 コンクリート型枠・支保工の企画・製造
- <https://www.kouyou-shokai.co.jp/>

第7分科会 経営指針の実践と確立 鹿児島

理念が人を引き寄せ、指針が未来を動かす
現場に埋もれた経営指針を、再び経営の軸へ



鹿児島市の繁華街で「男流（おとこりゅう）散髪屋」を経営する亀澤氏。起業から順調な経営が続くなか、新型コロナにより状況は大きく揺らぎます。そのとき支えとなったのは同友会で学んだ経営指針でした。人材不足や現場に追われる日々の中で、理念をもとにスタッフの声を真摯に受け止め、働きがいのある環境づくりに挑戦。共感する仲間と出会い、苦境から持ち直しました。実践し続ける中で見えた変化と未来について報告します。

株式会社ブリッジ
代表取締役

鹿児島同友会広報委員長

亀澤 隼人氏

- 創業年 2015年 ●設立年 2015年
 - 資本金 10万円 ●年商 3,500万円
 - 社員数 4名 (内パート・アルバイト1名)
 - 事業内容 理容業、鹿児島市に理髪店を2店舗運営
- <https://www.bridge-ltd.co.jp>

第8分科会 10年ビジョン 香川

地域の健康インフラをつくる会社になる
～ビジョンが判断基準に、そして業界の変革へ～



「業界を変えたい」と志して独立したはずが、自分自身が同じ構造を再現していた。組織崩壊と事業譲渡などの逆境を経て気づいたのは、覚悟や仕組みだけでは組織は変わらないという現実だった。転機となったのは、社員と共に10年ビジョンを描いたこと。行き先が揃い、ビジョンは「判断基準」へと変わった。本報告では、ビジョンを起点に「地域の健康インフラ」を実装していく現在地とともに、その実践の結果をありのままに報告します。

株式会社EARCS
代表取締役

香川同友会高松第7支部グループ長
青年部委員会副委員長

中川 都也氏

- 創業年 2019年 ●設立年 2019年
 - 資本金 30万円 ●年商 7,200万円
 - 社員数 11名 (内パート・アルバイト5名)
 - 事業内容 訪問鍼灸マッサージ院・鍼灸接骨院・美容鍼灸サロンの運営
- <https://earcs.co.jp/>

第9分科会 変革と挑戦 島根

債務超過を乗り越えた後継者の本気の覚悟
～自己変革から社員と共に歩む林商事の挑戦～



父の急逝で突然の事業承継となった林氏。待っていたのは、4,400万円の債務超過。社員や環境のせいにしてきた林氏が、同友会で「すべては経営者の責任」と向き合った時、会社は少しずつ変わり始めた。社員との対話、職場改善、自社施工率UPへの改革。“社長が変わることで組織は変わる”を、泥臭く実践してきたリアルな挑戦の物語。今、逆境に挑むすべての経営者に届けたい体験報告です。

林商事株式会社
代表取締役

島根同友会石見支部副支部長
共同求人共済委員会副委員長
青年部幹事

林 洋介氏

- 創業年 1954年 ●設立年 1970年
 - 資本金 1,120万円 ●年商 3億3,000万円
 - 社員数 22名 (内パート・アルバイト7名)
 - 事業内容 ①住宅建材②リフォーム③福祉用具④リハビリデイサービス
- <https://hayasi-shoji.com/>

第10分科会 採用・教育 広島

パワハラを恐れず、本気本音で関わる覚悟
～本音を隠す面接は、最大の無駄だ～



「言っても変わらない」と社員への期待を諦めていませんか。「パワハラになるかも」と本音を飲み込んでいませんか。大学卒業後、ニート生活を経て縁あってシナジーへ入社した報告者は、成果だけを追い社員を“道具”のように扱った結果、離職率8割、賞与減額という現実に直面し改心。同友会活動や役を通じて視座を高め、“数字のための経営”から“人と共に未来を創る経営”へと変化していく。採用と教育の本質を深く考えさせられる熱量ある報告です。

株式会社シナジー
取締役

広島同友会青年部会連絡協議会 副会長

小濱 亮介氏

- 創業年 1995年 ●設立年 1995年
 - 資本金 4,000万円
 - 年商 グループ全体 8億円
 - 社員数 グループ全体 250名 (内パート・アルバイトグループ全体 220名)
 - 事業内容 総合ビルメンテ、派遣、製造請負、採用コンサル、外国人紹介、警備事業
- <https://www.kk-synergy.co.jp/>

第11分科会 共に学び、共に育つ 滋賀

誰も信じられなかった僕が、“仲間と生きる”に辿り着くまで。
人を信じられなかった僕が、仲間と救われた経営の話

美容業界の常識を壊し、“0日デビュー”や大学生メンズ特化という独自戦略で成長してきたMIO。その根底にあるのは、「多様性こそが人を成長させ、組織を強くする」という考え方。人を揃えるのではなく、一人ひとりの個性や強みを生かす。誰か1人が創る会社ではなく、仲間と共に創り上げているリアルな経営ストーリーを、本音で語ります。

株式会社Mio 代表取締役
滋賀同友会理事・滋賀青全交実行委員長

本田 哲也氏

- 創業年 2018年 ●設立年 2022年
 - 資本金 100万円 ●年商 2億5,000万円
 - 社員数 40名 (内パート・アルバイト2名)
 - 事業内容 メンズ美容室の店舗運営事業
- <https://www.big-advance.site/c/135/1920>



第12分科会 人が輝く企業づくり 東京

ここが私の居場所です!と みんなが言える会社へ 働きがいのある会社は社員と共に作るもの

「自分の意見を貫き通すと、人が辞めてしまう。」創業11年目、一見「よい会社」になったものの、社員にとって本当に働きがいのある会社なのかな?と感じていました。その違和感は、組織崩壊を恐れて経営者自身が自分の意見を殺してしまっていることに原因があると気付きました。今後も人や社会に影響を与えていける会社にするため、社員一人一人が自分と向き合い、本音でぶつかる会社にしよう。そう決意し、まずは経営者が向き合う一歩を踏み出しました。



エンジェルサポート株式会社
代表取締役

東京同友会青年部 前部長

秋吉 利恵氏

- 創業年 2015年 ●設立年 2015年
 - 資本金 100万円 ●年商 6,300万円
 - 社員数 17名 (内パート・アルバイト 12名)
 - 事業内容 訪問介護事業 (高齢者・障害福祉)
- <http://care-support-angel.com/>

第13分科会 経営戦略の転換・差別化を図る 秋田

売上半減。 その時、あなたは何をしますか? 除雪依存から脱却し、一人当たり粗利2倍!

売上の約半分を除雪事業が占めていた珍田建設。「雪が降らなかったら?」という問いは、数年後に現実となります。除雪売上が半減し、債務超過目前の見通しに。そのとき、会社を守るため、何を捨て、何を残すのか。珍田氏が行ったのは、企業体質の見直しと、自社の「強み」を生かせる仕事への集中でした。社員とともに危機を乗り越え、地域になくはならない会社へ。珍田建設の実践から戦略転換と差別化の本質を学びます。



有限会社珍田建設
代表取締役

秋田同友会理事

珍田 正輝氏

- 創業年 1968年 ●設立年 2003年
 - 資本金 300万円 ●年商 2億5,900万円
 - 社員数 15名 (内パート・アルバイト 7名)
 - 事業内容 土木工事、除排雪業務、堤防維持管理業務・外構工事の設計・施工
- <https://chinda.jp/recruit/>

第14分科会 付加価値を高める 北海道

創業91年、柔軟な発想で切り開く 老舗企業の未来をつなぐ挑戦 正解のない承継

創業91年、北海道で唯一ゴム長靴を国内生産する第一ゴム。後継者になる予定のなかった私と、銀行員から社長となった父。価値観の違う二人が、様々なことに挑戦しながら、老舗企業の未来を模索してきました。時には社員の反発や組織の課題など葛藤と向き合いながら、学び成長してきた経験、そして経営理念づくりへの挑戦を報告します。



第一ゴム株式会社
取締役統括本部長

北海道同友会しりべし・小樽支部青年部
青年経営者懇談会 幹事

藤本 賢人氏

- 創業年 1935年
 - 資本金 7,300万円 ●年商 10億3,000万円
 - 社員数 104名 (内パート・アルバイト 43名)
 - 事業内容 国内におけるゴム製長靴の製造・販売、射出成型を用いたプラスチック製品の製造・販売
- <http://www.daiichi-gomu.co.jp/>

第15分科会 事業承継 埼玉

誰が継ぐ? 人生をかけた先代の想い 3兄弟のキングギドラ経営

2015年、工場移転をきっかけに3兄弟で会社と向き合う時間が始まりました。自分が健康でいることよりも三人の信頼関係が大切と語る林氏。両親が人生をかけてきた会社を誰が継ぐのか。「誰が継いでもいい会社にしよう」そんな言葉から生まれた、3兄弟によるキングギドラ経営。一人で背負うのか、別の形があるのか。家業を極め、承継する側もされる側も「誰に任せ、誰が担うのか」を考え、それぞれの立場で向き合う事業承継の話です。



株式会社林塗装工業所
取締役製造部長

埼玉同友会彩北支部 支部長

林 俊治氏

- 創業年 1957年 ●設立年 1965年
 - 資本金 1,000万円 ●年商 5億円
 - 社員数 26名 (内パート・アルバイト 14名)
 - 事業内容 工業用部品の塗装
- <https://hayashi-coating.co.jp/>

第16分科会 地域が輝く企業づくり 愛知

「どうせならおもしろい 地域の未来」を共に創る 地域との「あてにし、あてにされる」企業の在り方

ノリと勢いで起業した千賀氏は、事業の失敗と仲間の離脱という挫折を経て同友会へ入会。三位一体経営の学びを通じ、社員と未来を語り合い、自社の存在意義を探索します。経営指針の実践から「地域の良循環が自社の好環境をつくる」と気づき、人と地域を主語に置くローカルゼブラ企業へ変革。現在は企業・学校・行政など多機関と共創し、「どうせならおもしろい地域の未来」の実現に向け、さらなる挑戦を続けています。



株式会社レジスタ
代表取締役

愛知同友会青年同友会連絡協議会副代表

千賀 信義氏

- 創業年 2015年 ●設立年 2015年
 - 資本金 300万円 ●年商 1億5,000万円
 - 社員数 9名 (内パート・アルバイト 3名)
 - 事業内容 まちづくり、クリエイティブ、ソーシャル支援
- <https://rgst.net/>

第17分科会 企業づくりと地域づくりを一体として 奈良

熱のある地域へ! ～小さく固く転がっていく～

薬局を通じて「熱のある地域」をつくることを目指しています。熱のある地域とは、一人ひとりが自分らしく生き生きと暮らし、互いにつながり、人生を豊かにし合う状態のこと。薬を処方するだけでなく、その方の背景を理解し、人生に寄り添い、「接遇」を通してお客様対応や生活の提案、地域イベントの開催を通じて、自分らしさの発見や人とのつながりを生み出しています。ショーワ薬局(自分薬局)から地域の可能性を広げる熱い実践を今回報告します。



株式会社ショーワ薬局
代表取締役

奈良同友会青年部会副幹事長

吉川 晃之祐氏

- 創業年 1955年 ●設立年 2003年
 - 資本金 1,000万円 ●年商 18億5,000万円
 - 社員数 100名 (内パート・アルバイト 41名)
 - 事業内容 保険薬局、医薬品販売、在宅医療、健康相談
- <https://jibun-pharmacy.com/>

第18分科会 世界とつながる 宮城

鼻につくエリートが、ヒトに助けられてつながった世界 ～布施商店はベンチャー企業じゃなかった～

東日本大震災で全壊になった会社を見て、大手総合商社を退社。挑戦のない社風に、「先代はオレが教育してやる」と、自分だけを信じて経営を始めました。しかし、理想と現実と打ちのめされる苦悩のなか、「自分一人では局面を開けない」と感じ始め、徐々に自分自身の価値観を崩していきます。社員とパートナーを信頼していくことで、切り開かれた世界への挑戦がいま始まります。

株式会社布施商店 代表取締役

宮城同友会共同求人副委員長・石巻支部副支部長

布施 太一氏

- 創業年 1912年 ●設立年 1982年
 - 資本金 1,500万円 ●年商 7億3,000万円
 - 社員数 26名 (内パート・アルバイト 5名)
 - 事業内容 水産加工業・水産卸売業
- <http://fusesyouten.co.jp/>



宮城

われわれ青年経営者で次代に誇れる豊かな世界を創ろう！

開催意義

1

2030ビジョンを広め、全国の青年経営者の志を結集し、次代に誇れる豊かな世界を創っていく場とする。

2

学びを体現する次世代リーダーとして全人格的成長を遂げる学び合い活動を行う場とする。

3

多様性を生かし人と地域が輝く企業づくりの実践を分科会やグループ討論で交流する場とする。

4

本気本音で関わる仲間を地域に増やし世界とつながる取り組みを交流する場とする。

スケジュール

1日目

12:00 ● 受付開始
13:00 ● 分科会開会
18:00 ● 分科会閉会
19:00 ● 懇親会開会
20:30 ● 懇親会閉会

2日目

8:30 ● 開場
9:00 ● 全体会開会
9:30 ● 基調講演
12:15 ● 全体会閉会

開催概要

日時

2026年10月1日(木)13:00開会～2日(金)12:15閉会

会場

- ① 仙台国際センター (1日目分科会会場、2日目全体会会場)
- ② 江陽グランドホテル (1日目分科会会場、懇親会会場)
- ③ パレスへいあん (1日目分科会会場)

会費

- 懇親会あり 29,000円 (定員1,000名)
- 懇親会なし 16,000円

※宿泊・交通費別。 ※2日間参加が必須になります。 ※9月17日(木)以降のキャンセルは、会費を全額ご負担いただきます。

※中小企業家同友会全国協議会主催の全国行事は、「消費税法基本通達5-5-7」に基づく「共同行事」です。収益を目的とせず、かかる経費について参加会員に均等に特別会費としてご負担いただいています。会費は課税仕入れにはしないようお願いいたします。

アクセス



1

仙台国際センター

仙台市青葉区青葉山無番地 TEL 022-265-2211 (代)



地下鉄東西線
「国際センター駅」
下車 徒歩約1分



東北自動車道
「仙台宮城IC」から
約10～15分

2

江陽グランドホテル

仙台市青葉区本町2-3-1 TEL 022-267-5111 (代)



JR「仙台駅」より
徒歩約13分



東北自動車道
「仙台宮城IC」から
約15～20分

3

パレスへいあん

仙台市青葉区本町1-2-2 TEL 022-265-5111



JR「仙台駅」より
徒歩約5分



東北自動車道
「仙台宮城IC」から
約15～20分

第54回青年経営者全国交流会 in 宮城

締切 2026年9月16日(水)

会社名	役職	希望分科会	第1希望		第2希望	
			第	分科会	第	分科会
フリガナ						
氏名		懇親会	参加	・	不参加	

どちらかに○をお付けください。 ※事前申込制 定員1,000名

※お申込みは、所属同友会までお願いします。 ※会場の関係などで第2希望の分科会になる場合もございます。ご了承ください。 ※本登録内容は行事運営のために中同協の管理のもとに参加者名簿に活用し、参加者に配布します。 ※本行事の様態を撮影・録音・録画し、記録されたものを印刷物やインターネット上で公開させていただくことがあります。参加者の皆様の写真が掲載される場合がありますので、不都合がございましたら所属同友会事務局までご連絡ください。 ※9月17日(木)以降のキャンセルは、会費を全額ご負担いただきます。